

(別記)

令和7年度小郡市地域水田農業推進協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

小郡市は、福岡県の南西部、筑後平野の北部に位置している。筑紫山脈を源とする宝満川が市中央部を北から南に貫流し、宝珠川、草場川、口無川、高原川などを支流に持ち、農業用水源として多数のため池がある。土壌は、水田地帯が沖積層灰褐色土壌、畑地は火山灰土壌からなる肥沃な土壌である。このような自然条件に恵まれ、米・麦・大豆をはじめ野菜・畜産・花き・苗木などの農産物が生産され、県内でも上位を占める農産物も多い。

現在、担い手が土地利用型農業として米・麦・大豆を中心に、野菜・苗木・花きなどの収益性の高い作物を生産しているが、農家の高齢化や農業就業人口の減少により、地域の担い手の確保が喫緊の課題となっている。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

主食用米の需要が減少傾向の中で、本市では大豆や高収益作物への転換を推進している。ブロックローテーションもしくは、施肥又は土壌改良剤を散布することを産地交付金の取組要件とすることで、大豆の収量、品質向上を図る。

また、消費の多様化、需要の動向に対応した、安全で高品質な野菜を計画的に生産するため、地域に見合った団地化を進め、省力化と作業の効率化に努める。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

担い手による米・麦・大豆の土地利用型農業を中心としながら、野菜・苗木・花きなど収益性の高い作物を併せて作付けする複合型経営を推進するなどにより水田の有効利用を図るとともに、連作障害における品質の比較等など情報提供を行い、ブロックローテーション体系の構築を推進していく。

また、水田での野菜等の生産を振興しており、生産者から提出される営農計画書により作付計画を把握し、水田ごとの現地確認により作付状況の点検を行う。現地確認による点検結果により、畑作物のみの生産や自己保全管理が続く水田で、今後も水稲作付の見込みのない水田については、水田の畑地化の検討・推進を行う。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

販売計画に沿った品種別・水系別の作付誘導を行い、土づくり推進等による良食味米の生産と減農薬・減化学肥料栽培米等多様な需要に対応した米づくりを推進するとともに、産地間競争に負けない安定生産を図る。

ほ場整備、農地流動化の促進、農地の団地化を図り、農作業の受委託の促進により中核的農家と生産組織への基幹作業の共同化を進めて、大規模稲作農家と生産組織の育成を図る。

規模拡大に対応した省力化技術の普及と農業用機械の共同利用を促進して、コスト低減を図るとともに、カントリーエレベーターの効率的利用により生産性の向上・品質の

均一化を図り販売促進に努める。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

良好な水田環境の保全が図れる作物として、飼料用米の取組に助成を行い、需要に応じた生産を実現する水田保全型農業を推進する。また、産地交付金の活用により多収品種の導入を支援し、複数年契約により収益性向上を図り農家所得の増大を目指す。

イ 米粉用米

良好な水田環境の保全が図れる作物として、米粉用米の取組に助成を行い、需要に応じた生産を実現する水田保全型農業を推進する。また、産地交付金の活用により多収品種の導入を支援し、複数年契約により収益性向上を図り農家所得の増大を目指す。

ウ WCS 用稲

良好な水田環境の保全が図れる作物として、WCS 用稲の取組に助成を行い、需要に応じた生産を実現する水田保全型農業を推進する。

エ 加工用米

加工用米は主に主食用の米では対応し難い加工用需要向けに対応する。一物二価の価格となっていることから、主食用需給への影響を与えないように考慮しながら、主食用の生産量(生産数量目標)の枠外において、生産調整の手段として、加工用米を実施する。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦については、販売計画に沿った作付計画により、実需者ニーズに対応した作付指導を行い、ほ場における排水対策などの基本技術の励行と土づくりの推進等により、単収と上位等級比率の向上を図るとともに、収量の安定化を図る。

大豆については、販売計画に沿った作付計画により、実需者ニーズに対応した作付誘導を行い、基本技術の励行と高品質化のための栽培技術を導入する。また、ブロックローテーション方式を導入した水系別団地化を推進するとともに、生産組織で栽培管理、収穫作業を進める。受託作業の規模拡大により、汎用コンバイン等高性能機械を効率的に利用し、単位面積当たりの労働時間の短縮、生産コストの低減を図る。また、産地交付金の活用により担い手による作付を支援し、農家所得の増大を目指す。

飼料作物については、高品質粗飼料の安定的な生産と作業の効率化を図るため優良品種の導入や単収向上技術を推進し、飼料生産基盤の安定的確保を図る。

(4) 高収益作物

消費の多様化、需要の動向に対応した安全で高品質な野菜として、レタス類、サラダ菜、ホウレンソウ、中国野菜、ミズナ、キャベツ、イチゴ、スイートコーン、きゅうり、アスパラガス、コーン類、オクラ、トマト、ブロッコリー、その他軟弱野菜を産地交付金による作付支援を行いながら、計画的に生産する。

高齢化、後継者不足問題に対応するため、地域に見合った団地化を進め、省力化と作業の効率化に努める。また、施設園芸を一層振興することで、冬期の高収益作物づくりを推進し、周年作付け体系を確立すると共に生産の安定を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	732.4		823.4		794.8	
飼料用米	18.1		12.2		29.4	
米粉用米	8.3		7.1		8.5	
WCS用稲	56.6		53.3		57.0	
加工用米	0.1	0	2.1	0	1.0	0.9
麦	907.1	852.9	903.7	854.4	902.0	848.0
大豆	354.7		326.3		351.0	
飼料作物	22.4	15.4	20.0	13.9	26.0	20.0
・子実用とうもろこし	0		0		0	
高収益作物	61.4		65.0		48.2	
・野菜	51.0		54.1		37.0	
・花き・花木	10.3		10.8		11.0	
・果樹	0.1		0.1		0.2	
その他	1.4		1.4		1.6	
・芝	1.4		1.4		1.6	
畑地化	9.5		3.3		3	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	(令和6年度)	(令和8年度)
				前年度(実績)	目標値
1	大豆	大豆担い手加算 (基幹)	交付対象面積	354.7ha	356ha
2・3	麦	麦二毛作助成(年末 払・年度末払) (二毛作)	交付対象面積	852.9ha	854ha
			二毛作作付率	63.0%	69.9%
4・5	飼料作物、加工用米	その他二毛作助成(年 末払・年度末払) (二毛作)	交付対象面積	15.4ha	20ha
			二毛作作付率	63.0%	69.9%
6	WCS用稲、飼料作物	耕畜連携(資源循環) 助成(耕畜連携)	堆肥散布面積	54.3ha	56ha
			実施率	68.9%	70.0%
7	わら専用稲、飼料用米	耕畜連携(わら利用) 助成(耕畜連携)	わら利用面積	0ha	3.7ha
8	野菜、花き、花木、 果樹、芝、雑穀類	その他作物助成 (基幹)	交付対象面積	62.8ha	64ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:福岡県

協議会名:小郡市地域水田農業推進協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	大豆担い手加算(基幹)	1	8,000	大豆	ブロックローテーション又は施肥や土壌改良剤散布での収量増を図る。
2	麦二毛作助成(年末払)(二毛作)	2	4,000	麦	主食用米又は水田活用の直接支払交付金の戦略作物の対象作物を作付したほ場において、二毛作で麦を作付する。
3	麦二毛作助成(年度末払)(二毛作)	2	1,000		
4	その他二毛作助成(年末払)(二毛作)	2	10,000		
5	その他二毛作助成(年度末払)(二毛作)	2	1,000	飼料作物、加工用米	主食用米又は水田活用の直接支払交付金の戦略作物の対象作物を作付したほ場において、二毛作で飼料作物、加工用米を作付する。
6	耕畜連携(資源循環)助成(耕畜連携)	3	10,000	WCS用稲、飼料作物	散布される堆肥が、利用供給協定書に基づき水田で生産された粗飼料作物等の供給を受ける家畜の排せつ物由来であること。
7	耕畜連携(わら利用)助成(耕畜連携)	3	10,000	わら専用稲、飼料用米	稲わらを飼料として利用をすること。飼料用米を多収品種で取り組むこと。
8	その他作物助成(基幹)	1	8,000	野菜、花き、花木、果樹、芝、雑穀類	販売を目的に対象作物を作付すること。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

8 産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

小郡市地域水田農業推進協議会

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
小郡市地域水田農業推進協議会	79,885,000	79,885,000	79,881,500

(注)追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

配分枠

79,885,000

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3																合計 ② ※5	所要額 ①×② (円)	(参考) 支援年限 ※7	
				戦略作物								新市場開拓用米	そば	なたね	地力増進作物	高収益作物							その他
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米	野菜					花き・花木	果樹	その他の高収益作物					
1	大豆担い手加算(基幹)	1	8,000		32,600																32,600	26,080,000	令和8年度
2	麦二毛作助成(年末払)(二毛作)	2	4,000	84,500																	84,500	33,800,000	令和8年度
3	麦二毛作助成(年度末)(二毛作)	2	1,000	84,500																	84,500	8,450,000	令和8年度
4	その他二毛作助成(年末払)(二毛作)	2	10,000			1,385				900											2,285	2,285,000	令和8年度
5	その他二毛作助成(年度末)(二毛作)	2	1,000			1,385				900											2,285	228,500	令和8年度
6	耕畜連携(資源循環)助成(耕畜連携)	3	10,000			50			4,600												4,650	4,650,000	令和8年度
7	耕畜連携(わら利用)助成(耕畜連携)	3	10,000			290		10													300	300,000	令和8年度
8	その他作物助成(基幹)	1	8,000											4,000	1,000	10			100		5,110	4,088,000	令和8年度
合計(基幹)※4			実面積	0	32,600	340	0	10	4,600	0	0	0	0	4,000	1,000	10	0	100		42,660	79,881,500		
合計(二毛作)※4			実面積	84,500	0	1,385	0	0	0	1,800	0	0	0	0	0	0	0	0		87,685			

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。

※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。

※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。

※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

※7 支援年限を記入してください。(支援期間の最終年度を「令和〇年度」と記入し、ない場合は「なし」と記入してください。)

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

1. 追加配分を受けた場合

①整理番号1について、単価調整を行う。

(整理番号1の上限単価－整理番号1の当初単価)×整理番号1の取組面積…A

○調整後の単価＝調整前の単価＋(上限単価－当初単価)×(2回目配分額/A)

2. 追加配分を受けて、所要額が配分枠を超過した場合

整理番号1について単価調整を行う

○調整後の単価＝調整前の単価×(執行可能額－整理番号2, 3, 4, 5, 6, 7, 8の所要額の計/整理番号1の所要額)

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

所要額が配分額を超過した場合、整理番号1の単価調整を行う。

○調整後の単価＝調整前の単価×(執行可能額－整理番号2, 3, 4, 5, 6, 7, 8の所要額の計/整理番号1の所要額)

6. 高収益作物について

該当なし

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。

注2 収益性のわかるデータを添付してください。

3. 活用方法

配分枠

--

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3														合計 ② ※5	所要額 ①×② (円)	(参考) 支援年限 ※7	
				戦略作物							高収益作物				その他						
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米	新市場開拓用米	そば	なたね	地力増進作物		野菜	花き・花木				果樹
1	麦二毛作助成(年末払)(二毛作)	2	3,000	24,100															24,100	7,230,000	令和8年度
2	麦二毛作助成(年末払)(二毛作)	2	5,000	60,400															60,400	30,200,000	令和8年度
3	麦二毛作助成(年度末払)(二毛作)	2	2,000	24,100															24,100	4,820,000	令和8年度
4	麦二毛作助成(年度末払)(二毛作)	2	2,000	60,400															60,400	12,080,000	令和8年度
5	麦二毛作助成(年度末一括払)(二毛作)	2	5,000																0	0	令和8年度
6	麦二毛作助成(年度末一括払)(二毛作)	2	7,000																0	0	令和8年度
7	大豆生産性向上助成(基幹)	1	7,500		33,000														33,000	24,750,000	令和10年度
8	大豆生産性向上助成(二毛作)	2	7,500																0	0	令和10年度
合計(基幹)※4			実面積		33,000														33,000	※6	
合計(二毛作)※4			実面積	84,500															84,500		79,080,000

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。

※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。

※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。

※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

※7 支援年限を記入してください。(支援期間の最終年度を「令和〇年度」と記入し、ない場合は「なし」と記入してください。)

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小郡市地域水田農業推進協議会		整理番号	1		
用途名	大豆担い手加算（基幹）					
対象作物	大豆					
単 価	8,000円/10a		上限単価9,000/10a			
課 題	小郡市では、農家所得の増加のため大豆の作付を推進しており、水田のフル活用のために増大する必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	交付対象面積 (ha)	目標	348	345	355	356
		実績	338.9	354.7	—	—
内 容	本地域で作成した、水田収益力強化ビジョンに基づく取組支援として、経営所得安定対策の交付申請者である担い手が助成対象水田において大豆を作付した場合、作付面積に応じて助成を行う。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 販売を目的に大豆を作付する、地域計画に位置づけられた担い手 ○ 取組要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営所得安定対策等実施要綱に定められた交付対象となる農地で、大豆を作付すること ・ 連作障害を避けるため、ブロックローテーションを行うこと もしくは、収量増を図るため施肥（有機肥料も含む）又は土壌改良剤を散布すること なお、目標が達成されるまで、支援を毎年見直す。 					
取組の 確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域協議会において以下の書類等を確認する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 助成対象者：営農計画書及び人・農地プラン ② 助成対象作物：営農計画書及び農業共済データ ③ 助成対象農地：農地基本台帳及び水田台帳 ④ 取組要件の確認方法：営農計画書、肥料の購入伝票、販売伝票 					
成果等の 確認方法	令和8年3月末までに以下の方法で確認する。 作付面積については、営農計画書より集計					
備考	年度末払 令和8年度まで。目標の達成状況に応じて内容・単価を見直す。					

- ※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
- ※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
- ※ 令和7年度から新規に設定した目標については、令和6年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小郡市地域水田農業推進協議会			整理番号	2	
使途名	麦二毛作助成（年末払）（二毛作）					
対象作物	麦					
単 価	4,000円/10a					
課 題	小郡市の麦については、裏作の中心品目と位置づけており、水田のフル活用、また、農地の高度利用による販売収入増大のためにも現在の交付対象面積を維持する必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	交付対象面積 (ha)	目標	865.0	848	853	854
		実績	847.7	852.9	—	—
	二毛作作付率 (%)	目標	67.0	69.9	69.9	69.9
実績		69.8	63.0	—	—	
内 容	二毛作で麦を作付し、販売収入の増大を図る取組を支援する。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 販売目的で対象作物を作付する販売農家 ○ 取組要件 以下の取組を行うこと 主食用米又は水田活用の直接支払交付金の戦略作物の対象作物を作付したほ場において、二毛作で麦を作付すること なお、目標が達成されるまで、支援を毎年見直す。 					
取組の 確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域協議会において以下の書類等を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 助成対象者：営農計画書 ② 助成対象作物：農業共済データ、現地確認、出荷販売契約書 ③ 助成対象農地：農地基本台帳及び水田台帳 ④ 取組要件の確認方法：営農計画書 					
成果等の 確認方法	<p>令和7年12月末までに以下の方法で確認する。 麦の作付面積については、営農計画書より集計</p> <p>二毛作作付率＝二毛作面積（麦、飼料作物、加工用米）／水田面積×100</p>					
備考	年末払 個票3と重複可能。 令和8年度まで。目標の達成状況に応じて内容・単価を見直す。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
 ※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
 ※ 令和7年度から新規に設定した目標については、令和6年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小郡市地域水田農業推進協議会	整理番号	3			
使途名	麦二毛作助成（年度末払）（二毛作）					
対象作物	麦					
単 価	1,000円/10a					
課 題	小郡市の麦については、裏作の中心品目と位置づけており、水田のフル活用、また、農地の高度利用による販売収入増大のためにも現在の交付対象面積を維持する必要がある。					
目 標		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	交付対象面積 (ha)	目標	865.0	848	853	854
		実績	847.7	852.9	—	—
	二毛作作付率 (%)	目標	67.0	69.9	69.9	69.9
実績		69.8	63.0	—	—	
内 容	二毛作で麦を作付し、販売収入の増大を図る取組を支援する。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 販売目的で対象作物を作付する販売農家 ○ 取組要件 以下の取組を行うこと 主食用米又は水田活用の直接支払交付金の戦略作物の対象作物を作付したほ場において、二毛作で麦を作付すること なお、目標が達成されるまで、支援を毎年見直す。 					
取組の 確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域協議会において以下の書類等を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 助成対象者：営農計画書 ② 助成対象作物：農業共済データ、現地確認、出荷販売契約書 ③ 助成対象農地：農地基本台帳及び水田台帳 ④ 取組要件の確認方法：営農計画書 					
成果等の 確認方法	<p>令和8年3月末までに以下の方法で確認する。 麦の作付面積については、営農計画書より集計</p> <p style="text-align: center;">二毛作作付率＝二毛作面積（麦、飼料作物、加工用米）／水田面積×100</p>					
備考	年度末払 個票2と重複可能。 令和8年度まで。目標の達成状況に応じて内容・単価を見直す。					

- ※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
- ※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
- ※ 令和7年度から新規に設定した目標については、令和6年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小郡市地域水田農業推進協議会			整理番号	4	
使途名	その他二毛作助成（年末払）（二毛作）					
対象作物	飼料作物（イタリアンライグラス）、加工用米					
単 価	10,000円/10a					
課 題	小郡市の飼料作物、加工用米については、裏作の中心品目と位置づけており、水田のフル活用、また、農地の高度利用による販売収入増大のためにも現在の交付対象面積を維持する必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	交付対象面積 (ha)	目標	27.0	20.0	20.0	20.0
		実績	19.3	15.4	—	—
	二毛作作付率 (%)	目標	67.0	69.9	69.9	69.9
実績		69.8	63.0	—	—	
内 容	二毛作で飼料作物、加工用米を作付し、販売収入の増大を図る取組を支援する。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 販売目的で対象作物を作付する販売農家 ○ 取組要件 以下の取組を行うこと 主食用米又は水田活用の直接支払交付金の戦略作物の対象作物を作付したほ場において、二毛作で飼料作物、加工用米を作付すること 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める加工用米取組の認定を受けていること なお、目標が達成されるまで、支援を毎年見直す。 					
取組の 確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域協議会において以下の書類等を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 助成対象者：営農計画書 ② 助成対象作物：農業共済データ、現地確認、出荷販売契約書 ③ 助成対象農地：農地基本台帳及び水田台帳 ④ 取組要件の確認方法：営農計画書、加工用米取組計画認定申請書、加工用米出荷契約等数量農業者別一覧 					
成果等の 確認方法	<p>令和7年12月末までに以下の方法で確認する。 飼料作物、加工用米の作付面積については、営農計画書より集計</p> <p>二毛作作付率＝二毛作面積（麦、飼料作物、加工用米）／水田面積×100</p>					
備考	<p>年末払 個票5と重複可能。 令和8年度まで。目標の達成状況に応じて内容・単価を見直す。</p>					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和7年度から新規に設定した目標については、令和6年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小郡市地域水田農業推進協議会			整理番号	5	
使途名	その他二毛作助成（年度末払）（二毛作）					
対象作物	飼料作物（イタリアンライグラス）、加工用米					
単 価	1,000円/10a					
課 題	小郡市の飼料作物、加工用米については、裏作の中心品目と位置づけており、水田のフル活用、また、農地の高度利用による販売収入増大のためにも現在の交付対象面積を維持する必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	交付対象面積 (ha)	目標	27.0	20.0	20.0	20.0
		実績	19.3	15.4	—	—
	二毛作作付率 (%)	目標	67.0	69.9	69.9	69.9
実績		69.8	63.0	—	—	
内 容	二毛作で飼料作物、加工用米を作付し、販売収入の増大を図る取組を支援する。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 販売目的で対象作物を作付する販売農家 ○ 取組要件 以下の取組を行うこと 主食用米又は水田活用の直接支払交付金の戦略作物の対象作物を作付したほ場において、二毛作で飼料作物、加工用米を作付すること 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める加工用米取組の認定を受けていること なお、目標が達成されるまで、支援を毎年見直す。 					
取組の 確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域協議会において以下の書類等を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 助成対象者：営農計画書 ② 助成対象作物：農業共済データ、現地確認、出荷販売契約書 ③ 助成対象農地：農地基本台帳及び水田台帳 ④ 取組要件の確認方法：営農計画書、加工用米取組計画認定申請書、加工用米出荷契約等数量農業者別一覧 					
成果等の 確認方法	<p>令和8年3月末までに以下の方法で確認する。 飼料作物、加工用米の作付面積については、営農計画書より集計</p> <p>二毛作作付率＝二毛作面積（麦、飼料作物、加工用米）／水田面積×100</p>					
備考	<p>年度末払 個票4と重複可能。 令和8年度まで。目標の達成状況に応じて内容・単価を見直す。</p>					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和7年度から新規に設定した目標については、令和6年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小郡市地域水田農業推進協議会		整理番号	6		
使途名	耕畜連携（資源循環）助成（耕畜連携）					
対象作物	WCS用稲、飼料作物（青刈りソルガム、スーダングラス、ローズグラス、わら専用稲、イタリアンライグラス、青刈りひえ）（ただし、食用に供される畜産物を生産するために使用される牛、馬、めん羊、山羊に供される場合に限る）					
単 価	10,000円/10a					
課 題	需要に応じた生産を行う中で粗飼料作物等の作付を推進している。特に、畜産農家の国産粗飼料の確保と、耕種農家における家畜糞由来堆肥の有効活用による水田農業の低コスト化、飼料作物の生産性の向上を図るため、地域内での水田経営、畜産経営との連携による資源循環取組を70%まで増大する必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	堆肥散布面積 (ha)	目標	40	49.5	55	56
		実績	47.4	54.3	—	—
	実施率（%）	目標	47.3	63	69	70
実績		62.5	68.9	—	—	
内 容	耕畜連携の取組支援として、水田で生産された粗飼料作物等の供給を受けた家畜由来の堆肥を飼料作物の作付水田に施用し、コスト削減を図る取組を支援する。					
具体的要件	<p>○ 助成対象者 利用供給協定書を締結した畜産農家に供給することを目的に対象作物を作付し、支援対象の取組を実施する者</p> <p>○ 取組要件 以下の5つの取組を行うこと</p> <p>① 当該年度における堆肥散布の取組み</p> <p>② 散布された堆肥が、利用供給協定書に基づき水田で生産された粗飼料作物等の供給を受ける家畜の排せつ物由来であること</p> <p>③ 堆肥を散布する者は、水田で生産された粗飼料作物等の供給を受けた家畜の所有者又はその者の委託を受けた者</p> <p>④ 堆肥の散布量が10a当たりで2t又は4m³以上</p> <p>※ 自ら家畜を飼養している者については、当該家畜のすべての堆肥を慣行に従って自己所有地に散布してもなお、堆肥が不足する場合に不足分を利用供給協定書に基づいて散布した面積に限り対象とする。</p> <p>⑤ 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める新規需要米取組計画の認定を受けていること。</p> <p>なお、目標が達成されるまで、支援を毎年見直す。</p>					
取組の 確認方法	<p>○ 地域協議会において以下の書類等を確認する。</p> <p>① 助成対象者：営農計画書</p> <p>② 助成対象作物：現地確認</p> <p>③ 助成対象農地：農地基本台帳及び水田台帳</p> <p>④ 取組要件の確認方法：利用供給協定書（3年以上の締結期間）、販売契約書、現地</p> <p>⑤ 新規需要米取組計画書又は生産製造連携事業計画及びその添付書類</p> <p>※利用供給協定書必須事項：取組の内容、供給される粗飼料作物等の種類、粗飼料作物等の生産者、堆肥散布者、ほ場の場所及び面積、堆肥の散布時期及び量 利用供給協定締結期間、堆肥散布の条件</p>					
成果等の 確認方法	<p>令和8年3月末までに以下の方法で確認する。</p> <p>① 助成対象となる農家の粗飼料作物等作付面積を集計する。</p> <p>② 堆肥散布の取組みを行った作付面積を集計する</p> <p>実施率＝堆肥散布面積／粗飼料作物作付面積</p>					
備考	年度末払 令和8年度まで。目標の達成状況に応じて内容・単価を見直す。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和7年度から新規に設定した目標については、令和6年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小郡市地域水田農業推進協議会		整理番号	7														
使途名	耕畜連携（わら利用）助成（耕畜連携）																	
対象作物	わら専用稲、飼料用米（ただし、食用に供される畜産物を生産するために使用される牛、馬、めん羊、山羊に供される場合に限る）																	
単 価	10,000円/10a																	
課 題	小郡市の肉用牛経営においては、国産粗飼料の確保が課題となっており、これまでも水田経営と畜産経営との連携に取り組んできた。引き続き、飼料用米やわら専用稲の作付を推進し、耕畜連携によりそのわらを活用することにより、地域全体で国産粗飼料の安定した供給体制を構築する。																	
目 標	わら利用面積 (ha)	目 標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度												
		実 績	4	3.5	3.6	3.7												
内 容	<table border="1"> <tr> <td>わら利用面積 (ha)</td> <td>目 標</td> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> <td>令和8年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実 績</td> <td>4</td> <td>3.5</td> <td>3.6</td> <td>3.7</td> </tr> </table> <p>耕畜連携の取組支援として、飼料用米の生産とほ場から生産された稲わらの利用に対する取組に対し、助成を行う。</p>						わら利用面積 (ha)	目 標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		実 績	4	3.5	3.6	3.7
わら利用面積 (ha)	目 標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度													
	実 績	4	3.5	3.6	3.7													
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 利用供給協定書を締結した畜産農家に供給することを目的に対象作物を作付し、支援対象の取組を実施する者 ○ 助成対象農地 <ul style="list-style-type: none"> ①経営所得安定対策実施要綱に定められた交付対象となる水田 ②同一年度に水田への堆肥散布の助成を受けていない水田 ○ 取組の要件 <ul style="list-style-type: none"> ①利用供給協定に基づく飼料用米生産ほ場の稲わら利用の取組 ②そのわらが確実に飼料として利用され、かつ、その子実が飼料または飼料の種苗として利用される稲の作付であること ③生産性向上のための課題に対する取組として、飼料用米を多収品種で取り組むこと。 ④需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める新規需要米取組計画又は米穀の新用途への利用の促進に関する法律に定める生産製造連携事業計画の認定を受けていること <p>なお、目標が達成されるまで、支援を毎年見直す。</p>																	
取組の確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域協議会において以下の書類等を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 助成対象者：営農計画書 ② 助成対象作物：現地確認 ③ 助成対象農地：農地基本台帳及び水田台帳 ④ 取組要件の確認方法 <ul style="list-style-type: none"> (1) 利用供給協定（3年以上の締結期間） 必須事項：場所の内容、わらを生産する者、わらを収集する者、わら利用者、ほ場の場所及び面積、刈取り時期、利用供給協定締結期間、わら取引の条件 (2) 販売契約書 (3) 新規需要米取組計画書又は生産製造連携事業計画及びその添付書類 																	
成果等の確認方法	<p>令和8年3月末までに以下の方法で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①飼料用米作付面積については、営農計画書より集計 ②わら利用を行った面積を集計 																	
備考	<p>年度末払 令和8年度まで。目標の達成状況に応じて内容・単価を見直す。</p>																	

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和7年度から新規に設定した目標については、令和6年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	小郡市地域水田農業推進協議会			整理番号	8	
使途名	その他作物助成（基幹）					
対象作物	野菜・花き・花木・果樹・芝・雑穀類（そば除く）（別紙参照）					
単 価	8,000円/10a					
課 題	小郡市では、水稻のみの作付農家も多いため、転作として所得増加の見込まれる作物について複合経営を推進する必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	交付対象面積 (ha)	目標	173	55	63	64
		実績	70.7	62.8	—	—
内 容	本地域で作成した、水田収益力強化ビジョンに基づく取組支援として、経営所得安定対策の交付申請者が助成対象水田において野菜・花き・花木・果樹・芝・雑穀類（そば除く）の作物を作付した場合、作付面積に応じて助成を行う。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 販売を目的に対象作物を作付する販売農家 ○ 助成対象水田 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営所得安定対策等実施要綱に定められた交付対象となる農地 ・ 対象作物の収穫年度と同一年度に水稻及び戦略作物の作付けを行わない田であること ・ 同一ほ場において対象作物が2回以上作付される場合または混作が行われる場合は、交付は1回限りとする ○ 取組の要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 果樹の植栽制限「新植後4年目までのものを対象とする」 ○ その他要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象作物については、別紙1に定める品目以外で、地域協議会長が特に認める場合は対象とすることが出来ることとする ・ 芝、雑穀類については、直売所等での有利販売を行うこととする <p>なお、目標が達成されるまで、支援を毎年見直す。</p>					
取組の 確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域協議会において以下の書類等を確認する <ol style="list-style-type: none"> ① 助成対象者：営農計画書 ② 助成対象作物：農業共済データ、出荷伝票、検査伝票、写真、種苗の購入伝票、契約書及び作業日誌等、必要に応じて現地確認を実施する ③ 助成対象農地：農地基本台帳及び水田台帳 ④ 取組要件の確認方法：営農計画書 					
成果等の 確認方法	令和8年3月末までに以下の方法で確認する。 作付面積については、営農計画書より集計					
備考	年度末払 令和8年度まで。目標の達成状況に応じて内容・単価を見直す。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和7年度から新規に設定した目標については、令和6年度の目標の記載は不要です。

(別紙1)
対象作物

対象作物
いちご、冬春なす、冬春トマト、ねぎ、アスパラガス、水菜、大葉、小松菜
夏秋なす、夏秋トマト、きゅうり、スイートコーン、さといも、ねぎ類、コーン類
そら豆、赤しそ、クワンサイ、にんじん、ごぼう、フキ、春菊、みつ葉、カブロ、カブ
枝豆、ブロッコリー、白菜、キャベツ、じゃがいも類、かぼちゃ、ほうれん草、らっきょう
大根、チンゲンサイ、かつお菜、レタス類、スティッキー、ゴーヤ、ピーマン、パナ、サダ菜
カリフラワー、モロヘイヤ、パセリ、ニラ、たかな、えんどう豆、セリ、大根葉、ベニナ、パクチ
パプリカ、ツルムサシ、シトウ、オクラ、グリーンボール、さしみ大根、セリ、ベビーリーフ
いちじく、かき、ブルーベリー、うめ、茶、マンゴー
電照ぎく、バラ、洋ラン、ユリ、ガーベラ、トルコギキョウ、ランキユラス、カーネーション、その他花き
露地ぎく、ユリ、材木、グラジオラス、アスター
ツツジ、サツキ、ツバキ、カイヅカイブキ、ゴールドクレスト、モミジ、マキ等その他花木、芝、種苗（花木）
雑穀類（そば除く）